

服部知事の発言・要望等

【R7.7.23 全国知事会議】

- 東京一極集中問題について発言。他の知事もこの問題に言及し、東京都との間で激しい議論が交わされる。

(服部知事発言要旨)

- 東京都はその豊かな財政力を背景に、子ども医療費、教育費、水道料金の無償化など手厚いサービスを実施。このような施策を展開できない自治体との間で行政サービスの格差が生まれ、若者・女性の一極集中に拍車がかかっている。
- 福岡県でも20代は東京へ流出超過の状況。若者が能力を生かせる仕事づくり、住み続けたいと思えるまちづくりに努める必要があることは承知しているが、そのためにも偏在性が少ない安定的な地方税体系を構築することを進めていく必要があることを政府に強く求めてもらいたい。

【R7.9.9 第8回地方税制のあり方に関する検討会】

- 地方財政審議会の下に設けられた「地方税制のあり方に関する検討会」(座長：小西砂千夫)において、地方団体の代表として、東京都、埼玉県、秋田県とともに、地方税の偏在是正(東京一極集中)について発表。

(主な主張)

- 東京都は、人口1人当たり一般財源は全国平均とほぼ同水準と主張しているが、標準的な財政需要への充当割合が非常に低いため、留保財源等により独自の施策を実施可能と反論。
- 小売販売額におけるインターネット販売や、コンビニなどのフランチャイズ事業は、人口や店舗数と比較しても東京都に税収が集中しており、受益と負担の関係が一致していない。



【R7.11.19 国の施策・制度・予算に対する提言・要望】

- 総務大臣に対し、提言・要望書を手交。最重点項目として「東京一極集中の是正」・「地方財政の充実・強化と地方分権の推進」を要望。

(提言・要望内容)

- 税源の偏在性が小さく税収が安定的な地方税体系の構築及び地方法人課税等における更なる偏在是正措置の実施
- 税制の見直しによる地方の大幅な減収に対する恒久的な代替財源の確保